



生涯現役をめぐりて

継続は力なり

東御市文化協会長 貢 基一郎



「東御市文化協会」は、創立36周年となりました。生涯学習の普及・促進の中で関係の皆様のご支援のもと、会員の皆様の弛まない努力と共に、大きく成長してまいりました。しながら当協会におきましても、少子高齢化等の影響により、因みに10年前と比べますと一対成人比率一にして二七％減となっております。会員の維持・増加を重視した活動が急務ではないかと思っております。

文化活動（生涯学習）は「楽しい学び」であり新たな「出会うの場」でもあります。長年に渡る活動成果は高度なレベルに達しており、広く市民の皆様にご感動・喜び一等についての「共有」が図られているものと思っております。

現在の組織について申し上げますと「ジャンル数」三十以上、「グループ数」二二、「会員数」一九二〇です。事務局は文化会館にありますので何時でも「ご相談」等お待ちしております。

今年度の主な事業と致しまして、長年の懸案でありました一部会組織の見直しを進めており、来年度から本実施の運びとなっております。今後とも当協会の発展の為、ご協力を賜りますようお願い致します。

明日があるから、今を輝く

東御市長 花岡 利夫



今年米寿を迎えられた、東御市ご出身の荒井茂雄画伯は、「過去は、安定、美しい思い出。未来は、ハラハラドキドキ、何があるか分からないから、挑戦する価値がある。今を輝いて生きているか！」と、現代アートの真髄を、そう表現されています。

画伯の八十八才の輝きは、神々しく、まばゆいばかりです。

「文明はグローバル、文化は地域の有り様を示す。」と言われます。東御市にとって、丸山晩霞先生は、水彩画の父であると共に、祇津八景、小諸義塾に通じる地域づくりの基を築いてくれた祖でもあります。

梅野記念絵画館、丸山晩霞記念館と、二つの美術館を持つことを誇りとし、今後はサンテラスホールを使いこなしてまいりたいと考えています。

地域文化の振興における文化協会の、常日頃のご尽力に感謝申し上げますと共に、今後ともキラリと光る明日の東御市のために、輝いてまいりますよう。

本当の豊かさを求めて

東御市公民館長 今泉 正毅



日頃、心豊かな生き方としての文化を育み、また、人と人とのつながりを深め、お互いが

支え合って生きることができるとは、まちづくりを目指す文化振興のために、積極的に学びを展開し、その成果を発表し、多くの感動や喜びの機会を与えてくださっている文化協会及び各部会の皆様に、改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

「心豊かな生き方」については、学びの実践者から示唆されています。音楽演奏や、絵画・書・文学などのあらゆる分野での創作・発表活動の姿や、発表作品が語る作者の思いや願いにも、人に対する「やさしさ」が溢れており、参加市民との心豊かな相互交流も深められていると思います。

今の世の中の厳しい現実の一面として、「もの」優先の考え方の傾向もあることや、その背景としての競争や格差の指摘もありますが、地域文化の振興・向上を図るうえで大事に考えたいことは、家族は勿論、隣近所や地域が仲よく、人びとの心の一やさしさ一が伝わり、お互いに支え合って生きていく人間関係のつながりを深めていくことではないでしょうか。

東御市文化協会、そして各部会の皆様のいよいよのご尽力、ご活躍を期待申し上げます。

文化協会の部会見直しについて

副会長 小林 泉

日頃文化協会の活動に対し、会員の皆様はじめ市民の方に御協力を頂き、ありがとうございます。

今年度の総会に、「部会の見直し」について、ご要望がなされ、三役会等におきまして、検討がされてきました。

せせらぎ部会を中心に、見直しの対象となる部会長方に、出席を頂き、二回に分けて説明会を開き、ご意見を伺い致しました。

その結果、三十部会を二十六部会に集約され、新しい部会も誕生しました。今後各部会の更なる充実と強化が図られるよう期待するものです。各部長はじめグループ長は、移行がスムーズに行なわれますよう、よろしくお願ひ申し上げます。該当部会、役員の皆様には大変ご苦勞様でした。

新しい部会は次の通りです。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 1 絵画 | 2 写真 | 3 書道 |
| 4 彫刻 | 5 民謡 | 6 舞踊 |
| 7 詩吟 | 8 謡曲 | 9 合唱 |
| 10 華道 | 11 茶道 | 12 手芸 |
| 13 工芸 | 14 料理 | 15 園芸 |
| 16 短歌 | 17 俳句 | 18 川柳 |
| 19 文芸創作 | 20 陶芸 | 21 音楽 |
| 22 ダンス | 23 棋道 | 24 邦楽 |
| 25 カラオケ | 26 教養 | |

邦楽部会

大きな舞台で

演奏を楽しんでいます

代表 佐藤 雄治

新春、一月六日に重奏な和太鼓の響きで幕を開け、各グループ日頃の練習の成果を発表させて頂きました。

近年はメディアの発達で年間を通していろいろなジャンルの音楽が流れている中、この時期には「鼓・箏・太鼓等」静寂の中に響く邦楽楽器の音色が似合うと感じます。

部会がスタートし、十六年目、十四グループで会員も百四十名程に成長し、内容も目を見張るほどに上達し、堂々とした演奏に感激しております。

高齢化社会を迎えておりますが、邦楽を楽しみ継承に励んで行きたいと考えています。



音楽部会

“TNS 定期演奏会”

貢 甚一郎

「TNS ジャズ・オーケストラ（音楽部会所属）」は11月8日の夜、サテラスホールにて「第26回定期演奏会」を開催しました。肌寒い日でしたが、満員のお客様により、盛大且つ楽しい演奏会となりました。

毎回楽しくお聞き頂く為の催し物と成る様、メンバー一同試行錯誤で頑張っているところです。

今後も、宜しくお願ひ致します。



民謡部会

楽しく唄おう千月会

民謡部会長 船田 利明

民謡部会の発表会も29回目となりました。4月7日開催され、今年も大勢の会員の皆様の御来場と来賓各位と指導者の先生方を御招待して発表会が出来ました。

これも会員の皆様のご協力と熱心な同志の努力の賜物だと頭がさがります。唄では依田先生の熱心な御指導のもとに会員達は上手に歌うことが出来ました。

今年も依田先生の35周年を記念しての発表会も9月14日に小沢千月、国村千鳥、河先生と東京の先生方10数名を御招待して盛大に開催されました。



絵画部会

水墨画 代表 保科 清

水墨画というのは、単色の一本の墨をすりそれを四〜五倍にうすめ、濃墨と青墨というように使い分けをして書き集めます。

画風は二つあり古典的なものは、中国的書き方で、山と川が静かに流れ、そこへ谷、小屋があり、ゆったりとした姿で老人が茶を飲んでいゝ。と言った、どこの家にもあるような掛軸によくみる風景です。現在には全く書かれていないようです。他の一つは写実的な書き方が中心で、私達もこのような描写をしております。

この会には現在九名で互に批判したりしております。指導の先生は坂城町の栗田保先生ですが、お年が高齢化で年に一〜二回、来られるだけですが、水墨画の基本は二十数年教えていただきました。

水墨画をやってみたいと思つた方が居りましたら、一緒にやってみませんか。



華道部会

華道部会長 細山 城子

華道部には、遠州流、草月流、小原流、古流松籬会の、四流派で五人の先生がおります。それぞれの先生の教室で週一回又は各週とありますが定期的には休まず続けております。流派によって形の違いがありますが、先生の指導により楽しく稽古を積んでおります。

春には湯楽館に一月間華道部の会員によって作品の展示をしました。それぞれの流派の特長を出して活けました。秋のフェスティバルには秋のいろどりを盛り込み皆仲良く楽しく活け上げました。今後も精進して日本文化のすばらしさを継承していきたいと思っております。

若い人にも華道部に入つて楽しく稽古をして仲間づくりをしていただきたいと思ひます。



工芸部会

からくさ会の歩み

代表 小林 俊子

レザークラフトからくさ会は、生き生き生涯学習塾の卒業生有志の集まりです。去る十月二十六、二十七日に田中の胡桃倶楽部で、二十周年記念作品展を開催し、牛皮を使ったバッグや鏡や花のブローチなど二百点を超える作品を多くの人に見て頂きました。

会員は十三名で、総合文化フェスティバルにも毎年参加しています。根気と手間のかかる革工芸ですが、世界にただひとつの作品を目ざしてあせらず仲よく続けたいと思っております。



平成20年度 東御市総合文化フェスティバル

第5回 11月1日～3日 中央公民館



開会セレモニー



開会セレモニー



華道部会



写真



俳句部会



レザークラフト部会



川柳部会



手芸部会(パッチワーク)



手芸部会(あみもの)



陶芸部会



身彫者コーナー



粘土クラフト



短歌部会



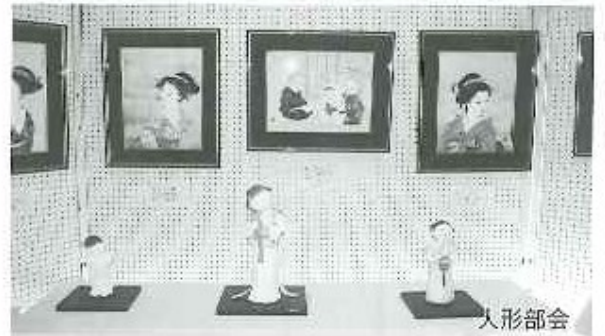
七宝焼



小学生の作品



パジャマパーティ



人形部会



絵画部会(油絵)



書道部会(てん刻)



ちぎり絵部会



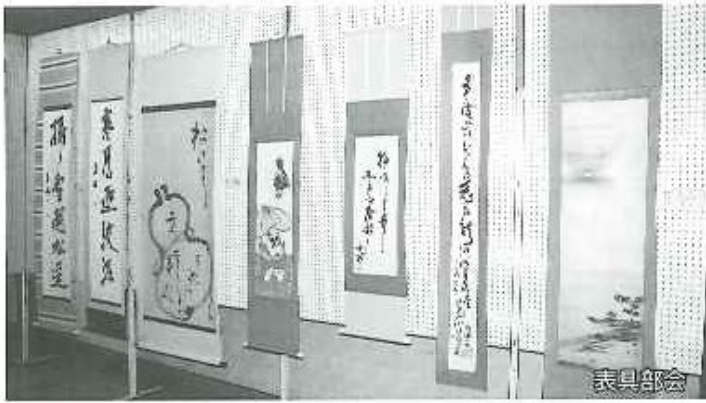
スタンドグラス



茶道部会



舞踊部会



表具部会



彫刻部会



絵画部会 (水彩)



書道部会



手芸部会



舞踊部会

第二扇楽会

会長 佐藤 充子

舞踊部会の27グループに入り20数年になります。毎週木曜日に公民館で、ご指導の先生の下に練習をしております。

日頃、使わない、手や足、そして体を音楽に合わせて、伸ばして練習をしています。年をとるにつれ、上達にはほど遠いですが、三月の発表会に向けてがんばりたいです。寒くなって来た今頃ですが、練習の後は汗ばんだ体を休めて、お茶を飲みながら親睦を深めている木曜日です。



入選作品…「波とたわむれる少女」

写真部会

写遊とうみ

会長 滝沢 英雄

今年は県展一席に会員一名が入選し、今までに県展は七名が入選しております。絵はがき調の写真でなく皆さん独自の写真を撮り、感動に燃え爆発しております。会員の皆さんの年齢は六十五才過ぎの人達です。

欲望の電車から降り老後を楽しく写真の趣味に遊んでいる会です。

事務局 諸山 照男

平成20年度 東御市文化協会役員名簿

会 長	眞 甚一郎
副 会 長	小林 泉
副 会 長	栗原 陽子
計 画 長	高木 友子
監 事	塚田 悦郎
監 事	松本 房子
絵 画 部 会	高藤 俊幸
水 墨 画 部 会	保科 清
写 真 部 会	土屋 孝吉
書 道 部 会	山 岸 一 郎
彫 刻 部 会	近 喰 和 夫
民 謡 部 会	船 田 利 明
舞 踊 部 会	上 原 け さ え
詩 吟 部 会	関 誠
謡 曲 部 会	福 島 慎 雄
合 唱 部 会	庄 村 茂
華 道 部 会	細 山 城 子
茶 道 部 会	早 川 み ど り
手 芸 部 会	宮 原 千 秋
ち ぎ り 絵 部 会	藤 沢 敦 子
人 形 部 会	桜 井 き よ
菊 花 部 会	寺 田 泰 明
短 歌 部 会	飯 高 紀 志 子
俳 句 部 会	塩 野 入 靖 夫
陶 芸 部 会	青 木 一 夫
音 楽 部 会	竹 田 和 美
ダンス部会	石 和 敬 子
棋 道 部 会	増 田 宣 夫
文 芸 制 作 部 会	小 林 富 士 子
藤 手 芸 部 会	青 木 嘉 子
邦 楽 部 会	佐 藤 雄 治
川 柳 部 会	丸 山 孔 男
表 具 部 会	小 林 良 徳
せせらぎ部会	菊 地 登 代 子
カラオケ部会	都 あ ん り
郷土史部会	寺 島 武 郎

平成二十年年度文化協会のめいゆ

平成十九年12月8日	東御市合唱祭
平成二十年1月5日	第4回東御市新春書初め大会
1月6日	第16回邦楽部会発表会
3月2日	平成19年度いきいき生涯学習公開講座
3月2日～9日	第4回東御水彩同好会会友会
3月8日	第4回書道部会会友会
3月16日	第29回舞踊部会発表会
3月19日	平成19年度第2回常任委員会
3月30日	第28回琴伝流大正琴発表会
4月6日	第29回民謡部会発表会
4月17日	平成20年度文化協会総会
4月19日	第10回大田区・東御市交流開基大会
4月19日～29日	第1回東御市油絵同好会展
4月22日	いきいき生涯学習公開講座
5月16日～25日	第13回香東会書展
6月8日	第39回聖園流東部吟道会温習大会
6月13日～18日	第58回東御美術会会友展
6月19日	平成20年度第1回常任理事会
7月17日	部会見直し(案)の説明会(第一回)
7月27日	第19回文化協会長杯回春大会
7月29日	部会見直し(案)の説明会(第二回)
8月22日	平成20年度第2回常任理事会
8月31日	第13回カラオケ部会発表会
9月14日	千祥会35周年記念民謡発表会
9月25日	文化協会役員研修旅行
10月17日	書道部会研修旅行
10月19日	母照流日本詩吟会東部吟道大会
10月19日	第2回音楽部会合同発表会
10月21日～26日	第12回SFCちいさなちいさな書展
11月1日～3日	第5回東御市総合文化フェスティバル
11月1日～4日	東御市菊花会第5回菊花展
11月5日～12日	第12回東御美術会テーマ展
11月8日	第26回「Nシヤネオ」くまの定期演奏会
11月22日	第5回東御市短詩型文学祭
11月24日	東御市合唱祭
12月1日	高橋セシ「ほろあけまより」の発表 「せせらぎ第27号」発行

短詩型文学祭受賞者

平成20年度 第5回東御市短詩型文学祭受賞者一覧(理事者賞・特選)

短歌の部入賞者

市長賞	山本 徳子
教育委員会賞	山浦 安子
公民館長賞	小宮山若葉
文化協会長賞	小宮山若葉
特選	
☆小山 豊選	小宮山若葉
☆中島雅子選	小宮山若葉
☆宮澤 涉選	山浦 安子

俳句の部入賞者

市長賞	三浦 雅子
教育委員会賞	清水 恵子
公民館長賞	富岡 博見
文化協会長賞	白井 信子
特選	
☆上澤樹實人選	白井 信子
☆国見 敏子選	三浦 雅子
☆龍澤 宏司選	富岡 博見

川柳の部入賞者

市長賞	竹内 初江
教育委員会賞	山浦 湧泉
公民館長賞	手塚 利勝
文化協会長賞	宮下 道順

現代詩の部入賞者

市長賞	宮坂 春代
教育委員会賞	栗原 陽子
公民館長賞	山浦 道幸
文化協会長賞	鳴沢サト子

平成二十年年度

第5回東御市菊花展受賞者

競技花

市長賞	中内 文江
自由花(三本立)	
議長賞	依田 敕
教育委員長賞	高木 貞夫
菊花会会長賞	別府 俊勇
文化協会長賞	五十嵐淳子
J A信州うえた組合長賞	佐々木芳夫
上田信用金庫東部町支店長賞	竹内 進
商工会長賞	柳沢 廉
福助・ダルマ	
公民館長賞	内堀 勲六
花壇	
八十二銀行田中支店長賞	寺田 泰明

菊花部会について

寺田 泰明



第五回菊花展は盛会でした。会員は二十二名。講習会により技術の向上に努め、今年は栞津小に続き田中小四年生が一人一鉢「福助」作りに挑戦しました。菊は強い植物です。会員になって大輪を咲かせてみませんか。

伝統文化

当郡内をみても、一舞台—
そのものは青木村・上田市域
内にそれぞれ数か所、数えら
れるが、その舞台を使って地
芝居が、継承され上演されて
いることは管見の限り、その
例を聞かない。

目をさらに広げて、東・北
信地方に限っても、地元の人
たちによる地芝居の保存・公
演活動が行われているのは枅
津地区の東・西町だけである。

まさに、千曲川水系に保
存継承される唯一の地芝居と
して注目されている。

それぞれ東・西町の舞台
は、いずれも江戸期の文化年
間（1816年・1817年）築であるが、
とくに、東町の地芝居は残さ
れている史料から舞台建築
を遡ること約60年前の寛延
4年から（あるいは、それ以
前からか）の上演を知ること
ができる。

それ以来、戦時等による中
断はあったものの約260年前か
らの伝統をもつ歌舞伎—
地芝居—といえよう。

（文責 石川好一）



アロハ・フラ・しゅっぴ

代表 福島 睦子

こんにちは

私達は、アロハ、フラ、レフアと言います。

レフアとはハワイにさく花の名前です。

私達は楽しく明るくみんなで心をつなげて
鈴木先生のもとで練習をしています。練習した
事をボラ

ンテア
で皆様に
披露を
していま
す。フラ
は決して
激しい運
動ではあ
りません
のでみな
さんもど
うぞ一緒
に踊って
みません
か。おま
ちしてい
ます。



東御市文化協会研修会

九月二十五日（木）に、役員とせせらぎ編集
委員、総勢二十六名で群馬県富岡市富岡製糸場
と高崎市山田かまち水彩デッサン美術館を視察
しました。

世界遺産暫定リストに記載された富岡製糸場
は、日本の近代産業を象徴する歴史文化遺産と
して公開され、当日も多勢の見学者で賑わって
いました。

山田かまち美術館は、十七歳で短い青春を燃
焼させ尽くした少年の水彩画デッサン、詩が展
示されています。

大切に保存された建造物や未完の天才少年を
扱う美術館など、地域の有形無形の資産を活か
す文化の豊かさを感じることできた視察研修
でした。

事務局



編集後記

編集に当り皆様にご協力頂き有難うございま
した。

編集長 小河原ときほ

編集委員 掛川国男・斎藤つち子・木村謙枝・木島好江